

　　　　　和寒町ゼロカーボンシティ宣言

～　豊かな自然を、未来を担う子どもたちやその先の世代へ　～

近年、地球温暖化が原因とされる平均気温の上昇、台風や今までに経験のない集中豪雨などの自然災害が発生し、気候変動が日常の生活を脅かす事態となり、その対策は喫緊の課題となっています。

２０１５年に合意された気候変動の問題に関する国際的な枠組み「パリ協定」では、「産業革命からの平均気温の上昇を２度未満とし、１．５度に抑えるよう努力する」との目標が共有されました。

国は、２０２０年１０月に２０５０年までにカーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指すことを宣言し、道においても、北海道が有する豊かな地域資源を最大限に活用しながら、脱炭素化と経済の活性化や持続可能な地域づくりを同時に進める「ゼロカーボン北海道」に向け、道民・事業者・市町村・団体などあらゆる主体が一体となって、その実現を目指すこととしています。

こうしたことから、本町においても、先人から受け継がれた豊かな自然を、未来を担う子どもたちやその先の世代へと引き継いでいけるよう、２０５０年までに二酸化炭素排出量実質ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ」を宣言します。

令和４年３月１６日

和寒町長　奥　山　　　盛